

輪之内町地域公共交通計画

概要版(R4~R8)

計画策定の趣旨

- ・ 輪之内町では、2014年度に地域公共交通総合連携計画を策定し、公共交通の構築を目指して路線再編事業や利用促進のための事業を実施しており、さらなる利便性向上やより効率的な運行が求められています。
- ・ 周辺市町においても、各市町の自主運行バスどうしの乗り継ぎ利便性の向上や地域間を結ぶ広域路線の見直しなどが必要となっています。
- ・ 交通事業を取り巻く社会経済情勢の変化や情報通信技術の進展への対応など新たな課題も発生しています。
- ・ 現状分析を行い、課題を整理したうえで、改めて地域公共交通に関する**基本的な方針**、**目標達成のための事業**を検討し「輪之内町地域公共交通計画」を策定しました。

現状分析等から整理した課題

- 課題1 多様な移動ニーズへの対応
- 課題2 利用しやすくなる情報提供の充実・環境の整備
- 課題3 住民意識の醸成
- 課題4 持続可能な公共交通の確保
- 課題5 まちづくりとの連携



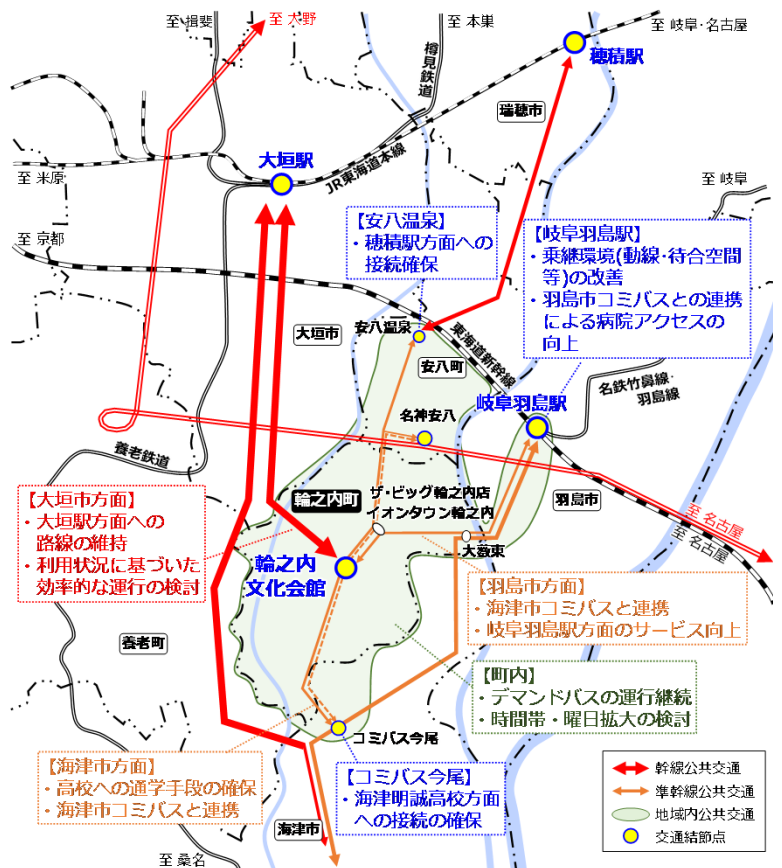
計画の基本理念（将来像）

- ・ 輪之内町第六次総合計画をはじめとする上位・関連計画や地域公共交通に関する課題を踏まえ、輪之内町の地域公共交通が目指す基本理念（将来像）、地域公共交通の担う（果たす）べき役割を以下のように設定しました。

ずっと住み続けられる
まちの一翼を担う
公共交通ネットワークの
維持・構築

【地域公共交通の担うべき役割】

- ・ 町外への通勤、通学手段を確保すること
- ・ 移動制約者が自由に外出できる環境を整えると同時に、外出するきっかけを創出し、健康の増進に寄与すること
- ・ 鉄道駅等交通結節点までのアクセスを確保し、周辺市町等との交流を活性化すること



公共交通ネットワークのイメージ

計画の基本方針・目標・事業

- ・ 基本理念「ずっと住み続けられるまちの一翼を担う公共交通ネットワークの維持・構築」を実現するため、以下の**3つの基本方針**と**7つの目標**を掲げ、**19の事業**を実施します。

基本方針・目標			事業	
基本方針1 多様なニーズに対応するサービスの提供				
目標1-1	町外につながる 路線の維持	1-1	海津線・輪之内線の見直し	
		1-2	海津市コミュニティバスの町内区間への停留所設置	
		1-3	回送便の実車化による南北線の増便	
目標1-2	移動制約者がおでかけに 困らないサービスの提供	1-4	デマンドバスの時間延長・土日運行	
		1-5	福祉的な観点からの移動支援	
基本方針2 利用促進に向けた取り組みの推進				
目標2-1	公共交通の認知度の向上	2-1	公共交通ガイドブックの作成・更新	
		2-2	地区別停留所詳細図の作成	
		2-3	体験乗車会の開催・お試し乗車券の配布	
		2-4	利用目的に応じたPRの実施	
目標2-2	利用しやすい環境の整備	2-5	高齢者専用回数券の発行	
		2-6	高校生通学定期購入補助の実施	
		2-7	運転免許証自主返納者支援事業の実施	
		2-8	ICT技術の活用	
		2-9	先進的な取り組みの調査・研究	
		2-10	町内バス停の待合環境の整備	
		2-11	岐阜羽島駅北口駅前広場の改善	
基本方針3 持続可能な公共交通の構築				
目標3-1	住民意識の醸成	3-1	住民意見等を反映する仕組みの構築	
目標3-2	関係者間の連携強化	3-2	輪之内町地域公共交通会議の開催	
目標3-3	まちづくりとの連携	3-3	各種計画との連携	

計画の達成状況の評価

- ・ 本計画の基本的な方針を実現するため、目標に応じた評価指標を以下のように設定します。

評価指標1 各路線の利用者数	基準値 (R2)	目標値 (R7)	評価指標2 公共交通利用者数の割合	基準値 (R2)	目標値 (R7)
輪之内羽島線	7,978人	8,000人	外出時に月1回以上バスを利用する人の割合	5.7%	6.0%
南北線	2,101人	2,200人			
輪之内町デマンドバス	9,565人	11,000人			
計	19,644人	21,200人	評価指標3 人口1人あたりの年間負担額	基準値 (R2)	目標値 (R7)
			人口1人あたりの年間負担額	3,673円/人	3,750円/人

※評価指標1・3の数値は、10月～9月で集計



お問合せ先

輪之内町役場 住民課

電話 0584-69-3111 / FAX 0584-69-3119 / E-mail jumin@town.wanouchi.lg.jp